

平成27年度 第2回社会教育委員会議 会議録

日 時 平成28年3月30日(水)

午後3時 開会

会 場 蕨市役所 4階 第1・2委員会室

出席委員／ 八木議長、青木副議長、榎本、澤田、栃本、新妻、比企、平井、藤川、松浦各委員
欠席委員／ 足立、徳丸、前川、前野 各委員
議事参与者／ 松本教育長、須崎教育部長、加藤館長(中央公民館)、岡部館長(東公民館)、
星野館長(西公民館)、加納館長(南公民館)、松永館長(北町公民館)、
大山館長(下蕨公民館)、萬年館長(図書館)、井田館長(旭町公民館・指定管理者)
事務局／ 榎本教育部次長・生涯学習スポーツ課長、
野田生涯学習スポーツ課長補佐・スポーツ推進係長、
鈴木生涯学習振興係長

1 開 会 午後3時

2 あいさつ

八木 守 議長

松本 隆男 教育長

3 前回会議録の承認

承認された。

4 議 事

・報 告

(1) 生涯学習関連事業等について

【資料1】

上記のことについて、事務局から報告があった。

(2) 教育施設における指定管理者の指定について

【資料2】

上記のことについて、事務局から報告があった。

委 員： 蕨市民体育館と蕨市プールの指定管理者候補者は、同じ会社か。シンコースポーツ株式会社埼玉支店の中に、シンコースポーツ・毎日興業共同体があるのか。

事務局： 蕨市民体育館と蕨市プールの指定管理者候補者は、同じ会社である。厳密に
いえば、蕨市民体育館は、シンコースポーツ株式会社埼玉支店と毎日興業株
式会社が共同で管理運営している。

委員： では、蕨市プールも共同で管理運営しているのか。

事務局： プールは、施設が小規模のため、シンコースポーツ株式会社埼玉支店のみで
管理運営している。

委員： もともと、シンコースポーツ株式会社はどのような会社なのか。

事務局： シンコースポーツ株式会社は、スポーツ施設の管理運営を行っている全国展
開している会社である。共同事業体とは、シンコースポーツ株式会社と設備
関係の会社、ここでいう毎日興業株式会社と連携して、蕨市民体育館の管理
運営を請け負っている。

(3) 第32回蕨市けやき文化賞について

【資料3】

上記のことについて、事務局から報告があった。

(4) 第68回優良公民館表彰及び優秀館選出について

【資料4】

上記のことについて、事務局から報告があった。

(5) 音楽によるまちづくり事業について

【資料5】

上記のことについて、事務局から報告があった。

委員： 小・中学校への音楽家派遣事業について、派遣した音楽家の方は、市内に在
住の方か、それとも蕨市に関係のある方なのか。

事務局： 講師は全員、蕨市音楽家協会に所属している会員である。ほとんどは市内在
住と聞いているが、中には市外在住の方もいる。

委員： 蕨市民音楽祭について、初めてのことで準備等が大変だったと思う。20歳代
の若い方に出演してもらいたかったので、中央公民館で活動している吹奏楽
クラブの代表者に声を掛けたところ、仕事をしているメンバーが多数のため、
練習・本番で土日が塞がるのが弊害となり、参加は難しいと言われた。

また、1回の練習で本番を迎えたが、できればもう1回練習・指導があった
方がいい。経験者であればいいが、イタリアの名曲・オペラ「ナブッコ」よ
りは、1回の練習では難しいと感じた。

一方で、一中音楽部と一緒に歌えたことはうれしかったし、いい経験となっ
た。中学生が一生懸命に練習している姿もとてもよかった。蕨市民音楽祭が
長く続くために、企画内容に工夫を凝らしたり、さまざまな方の意見を取り

入れたりして、みんなに喜ばれる事業にしてもらいたい。最後に、コメントの方から感想をいただけたことも非常にうれしかった。

委員：小・中学校への音楽家派遣事業について、子ども達にいい影響があり、すばらしい事業だと思った。今年度は6校10事業であったが、小・中学校全10校が実施したい、複数回実施したいとの申し出があった場合、対応できるのか。さらに次年度の予算を伺いたい。

事務局：今年度は、32万5千円の予算で小・中学校全10校に調査を取り予定を組んだ後、予算に余裕があったため再募集をかけた結果、6校10事業となった経緯がある。28年度は、前年度の実績と当事業のニーズが高いことがわかったので、予算を増額し40万円を確保した。よって、今年度よりも多くの学校に音楽家を派遣できると考えている。回数については、予算の範囲内での実施となるため、今年度同様、希望調査を取り、調整していく次第である。

委員：音楽家の派遣を希望しない学校は、今後も派遣しないことが続くのか。また、児童・生徒の希望を聞いているということではなく、教職員の都合で派遣を希望していないのかを教えてください。

事務局：小・中学校独自の予算で、音楽家を招聘してコンサートを開催したり、部活動の指導を受けたりしている場合がある。そのため、当事業への希望は6校のみであった。今後も独自で行っている学校については、そのまま継続して行い、当事業は蕨市音楽家協会の協力を得て実施していく。学校独自に行っている場合は、以前から交流のある音楽家を大切に音楽に関する事業を実施していると考えている。よって、当事業ですべての音楽に関する事業を賄っている訳ではない。

委員：そうすると、19ページに掲載されている事業以外に、学校独自で行っている事業があると判断してよいのか。

事務局：そのように聞いている。

委員：以前は、各学校で狂言を鑑賞する事業が行われていたようだが、現在はどうか。

教育長：昭和51年頃は、中学校で国語課の授業の一環で狂言師を招聘して、体育館で狂言を鑑賞していた。その頃は授業時間に余裕があったため、実施できていたが、だんだん時間の確保が厳しくなってきた、残念ながら授業から外れた経緯がある。

委員：子ども音楽大学わらびについて、最終日の音楽会時は、どのような楽器を使って演奏したのか。

事務局：器楽と合唱の2つのグループに分けた。さらに合唱はパート別、器楽のメインは学校で使用しているリコーダーのほか、個人的に所有している楽器を持参してもらい演奏した。

委員：蕨市民音楽祭について、「趣旨にクラシック音楽における声楽（ソロ、コーラス）・器楽（ソロ、アンサンブル）による参加者を募り」と記載されているが、

結果的には合唱・合奏しかできなかつたと思う。個人的にソロの指導を受けるとなると1回5千円とか1万円の費用がかかる。可能であれば、ワークショップの形式で、蕨市音楽家協会の方の本格的な指導を受けられる場やソロで発表できる場を設けてもらえれば、もっと音楽に関する興味が深まるのではないかと思う。

議長： 蕨市民音楽祭で、全体的に男性の参加が少ないのが残念である。来年度は、男性の参加を促してもらいたい。

(6) 平成28年度蕨市文化活動事業助成について 【資料6】

上記のことについて、事務局から報告があった。

委員： 中央エンゼルスは何の団体か。

事務局： スポーツ少年団に所属している、軟式野球のクラブである。

・協 議

(1) 社会教育関係団体の認定について 【資料7】

5件の認定申請があり、事務局及び各公民館長から説明があった。

委員： Diamonds 下蕨チームについて、会費が月1,200円・年300円となっているが、年会費とは何か。

下蕨公民館長： 月1,200円のほかに、年間で300円を1回、集金していると聞いている。
～協議の結果、全て承認された。

5 その他

- ・2月18日に開催された、南部地区社会教育関係職員・基礎研修会に出席した際の報告があった。
- ・4月24日に開催される「平成28年度 家庭倫理講演会」の案内があった。

6 閉 会

青木 祥夫 副議長

午後4時20分 閉会